国士舘100周年創立記念祭

アメリカンフットボール部

国士舘大学アメリカンフットボール部の歩み

アメリカンフットボール部は、1981年に工学部（現：理工学部）の学生が中心となって活動を開始しました。その頃は荒川の河川敷で細々と練習していたのだそうです。翌1982年に愛好会として正式に発足し、工学部の松本俊夫先生に部長を、政経学部Ⅱ部の尾又正則先生に監督をお願いしました。また、実質的な指導者として、原宿駅前でアメリカンフットボールショップを経営していた日野忠良氏（明治大学卒）にコーチングをお願いしました。

関東学生連盟に正式加盟した1983年頃から小野路校地（現：多摩キャンパス）ラグビー場で練習するようになり、活動も徐々に軌道に乗ってきました。　1986年は同率ながら関東学生3部リーグで初優勝を果たし、1993年には創部以来初めて2部リーグに昇格しました。OBの中には卒業後、社会人チームで活躍して日本一になったり、オールジャパンメンバーに選出される者も出てきました。しかしその頃の小野路校地は、体育学部移転工事が本格化し、練習を行うこと自体が困難な状況に陥り、練習場所を探して転々とする日が続きました。また、同時期に関東学連ではリーグ再編制がすすみ、前年度の成績がふるわなかった本学は、自動的に3部リーグ降格となってしまいました。

体育学部の移転が完了した後も練習グラウンドには苦労していましたが、体育学部生が入部してくるようになって部員数が増え、徐々に活気を取り戻してきました。2000年には強化クラブに指定され、スポーツ推薦入学者の割当てを受けることとなり、有力高校生プレーヤーの勧誘に弾みがつきました。その後2006年には新特別強化クラブに指定され、スポーツ推薦入学者の割当数を増員いただき、2007年にラグビー場が人工芝化された際には、ラグビー/アメリカンフットボール場の名称のとおり、アメリカンフットボール部の使用が承認されました。全天候型の練習グラウンドの使用は、計画的な練習が推進でき、選手の理解力やプレーの精度が向上しました。

2008年には創部初の2部リーグ優勝～1部リーグ昇格を果たしました。昇格早々に有数の伝統校で強豪の早稲田大学に勝利して4位になりましたが、この頃から“アスリート揃いの国士舘大学”と言われるようになり、関東リーグでも注目される存在になってきました。

2016年のシーズンは、新編成になった1部リーグで4位の成績でした。途中まで優勝戦線に残っていましたがあと一歩のところで及ばず、悔し涙を流しました。しかし、2016年シーズンは、リーグのベストメンバーに6名が選出され、特にクォーターバックの古本選手は、関東No.1の記録を出し周囲にその名を知らしめました。

アメリカンフットボール部は、国士舘の中でも後発であり、他のクラブのような輝かしい戦績はありません。しかし、これからも研鑽を重ね、国士舘大学および体育学部の発展に少しでも寄与できるよう努めてまいります。

国士舘大学アメリカンフットボール部　戦績

公式戦全記録

YEAR	BLOCK	WIN	LOST	EVEN	POS.
1984	準加盟	3勝	3敗	分	4位
1985	3部Bブロック	3勝	2敗	分	3位
1986	3部Cブロック	3勝	1敗	分	1位
1987	3部Aブロック	3勝	1敗	分	2位
1988	3部Bブロック	4勝	0敗	1分	1位
1989	3部Aブロック	4勝	0敗	分	1位
1990	3部Aブロック	3勝	2敗	分	2位
1991	3部Dブロック	2勝	3敗	分	3位
1992	3部Aブロック	2勝	3敗	分	4位
1993	3部Bブロック	5勝	0敗	分	1位
1994	2部Bブロック	1勝	5敗	分	6位
1995	2部Bブロック	2勝	4敗	分	6位
1996	エリア１部 Dブロック	6勝	0敗	分	1位
1997	2部Aブロック	4勝	3敗	分	4位
1998	2部Aブロック	3勝	4敗	分	5位
1999	2部Bブロック	0勝	7敗	分	8位
2000	2部Bブロック	2勝	5敗	分	6位
2001	3部Bブロック	3勝	2敗	分	4位
2002	3部Bブロック	5勝	0敗	分	1位
2003	2部Aブロック	4勝	3敗	分	4位
2004	2部Bブロック	3勝	4敗	分	6位
2005	2部Bブロック	4勝	2敗	1分	4位
2006	2部Bブロック	5勝	2敗	分	3位
2007	2部Aブロック	5勝	2敗	分	4位
2008	2部Bブロック	6勝	1敗	分	1位
2009	1部Aブロック	3勝	4敗	分	4位
2010	1部Aブロック	3勝	4敗	分	4位
2011	1部Aブロック	0勝	7敗	分	8位
2012	2部Bブロック	5勝	2敗	分	1位
2013	1部Bブロック	1勝	6敗	分	7位
2014	2部Aブロック	4勝	2敗	1分	3位
2015	2部Bブロック	7勝	0敗	分	1位
2016	１部BIG8	4勝	3敗	分	4位

優秀卒業生

小川　和利	平成３年度卒業 卒業後、アサヒビールシルバースターで活躍。平成４、５、13 年に日本一 平成 13 年オールジャパン選出
和田　英明	平成３年度卒業 卒業後、レナウンローバーズで活躍。 平成 17、20 年に渡米し、７人制アメリカンフットボールのプロチームの所属し チャンピオンシップゲームに出場。
島原　　創	平成６年度卒業 卒業後、レナウンローバーズで活躍後、アサヒビールシルバースターに 移籍し、平成 13 年に日本一。
岡田　公彦	平成６年度卒業 アサヒビールシルバースターで活躍。平成 13 年に日本一。
清水　陽介	平成 12 年度卒業　平成 14 年度スポーツ・システム研究科修了 大学卒業後、社会人チームでプレーしながら大学院を修了。 現在は、前橋育英高校で教職に就きながら同校硬式野球部のコーチを務め、 2013 年第 95 回全国高校野球選手権大会で優勝した。
金親　洋介	平成 15 年度卒業 卒業後、オービックシーガルズで活躍。平成 18 ～ 21 年に日本一。 平成 19 年第３回ワールドカップ日本代表選手 平成 19 年オールジャパン選出。現在は東京ガスに移籍して活躍中。
加藤　寛樹	平成 19 年度卒業 卒業後、オービックシーガルズで活躍。平成 19 ～ 21 年に日本一。
平野　勇紀	平成 19 年度卒業 卒業後、オービックシーガルズで活躍。平成 19 ～ 21 年に日本一。
齋藤　孝宏	平成 20 年度卒業 卒業後、オービックシーガルズで活躍。平成 20 ～ 21 年に日本一。
服部　　理	平成 20 年度卒業 学生時代は、2009 年学生オールジャパンに選出された。 卒業後、オービックシーガルズで活躍。平成 20 ～ 21 年に日本一。
岡田　和也	平成 21 年度卒業 卒業後、オービックシーガルズで活躍。平成 21 年に日本一。 現在は静岡県知徳高等学校で、アメリカンフットボール部の顧問を務める
神崎　　穂	平成 21 年度卒業 卒業後、オービックシーガルズで活躍。平成 21 年に日本一。 現在は明治安田生命に移籍して活躍中。
茂木　雅人	平成 21 年度卒業 アサヒビールシルバースターで活躍中。2016 年度 ALL JAPAN 選出
湯浅　　充	平成 27 年度卒業 世界大学選手権大会日本代表に選出され活躍。

2016年BIG8リーグ　ベストメンバー選出選手

NAME	POS.	MEMO
古本　雄也	QB	QB レイティング関東１位
椿原　拓朗	WR	俊足 WR。パスレシーブだけでなく、あらゆる場面で大活躍
梅木　拓人	TE	パスキャッチとブロックに秀でる俊足 TE
安　　皓太	OL	安定したブロックを見せるオフェンスライン
寺田エドアルド光	DL	ロスタックル１位、QB サック２位の活躍
中村　　健	K/P	スコアリングでは関東 No.1

2012 年 1 部 -2 部入替戦 VS 学習院大学

2013 年リーグ戦 VS 日本体育大学

2016 年オープン戦 VS 神奈川大学

2016 年オープン戦 VS 明治大学